

特集 健康寿命を延ばす予防活動

食育とソーシャルキャピタルを活用した健康づくり

特定健診受診者フォローアップ家庭訪問

公園からの健康づくり

全世代が出入りできる共生ホーム

シニアの運動継続率100%を目指す産官学活動

見守りネットワークの活動

大正琴をつかった認知症予防プログラム

…他

※都合により誌面が変更される場合がございます。

●編集名誉顧問

大田仁史 澤村誠志
米満弘之

●編集顧問

石川 誠 浜村明徳

●編集委員

栗原正紀(編集委員長)
伊藤隆夫 佐藤浩二
西脇恵子 渡邊慎一

●編集同人

浅海奈津美 有賀 徹
伊佐地隆 石松隆和
伊藤貴子 岩崎千佳
上菌紗映 生方克之
逢坂伸子 大越 満
太田秀樹 大武美保子
岡田しげひこ 乙坂佳代
加来克幸 寛 淳夫
加藤武彦 川越雅弘
木下康仁 桑山浩明
小林直樹 齋藤正洋
榊原次郎 座小田孝安
佐藤久夫 鈴木孝治
武原光志 玉垣 努
角町正勝 土井勝幸
野尻晋一 橋本美芽
長谷川幹 半田理恵子
東川悦子 備酒伸彦
廣末ゆか 福田俊江
古屋 聡 丸山 泉
水間正澄 宮崎宏興
宮田昌司 村井千賀
村上重紀 森岡悦子
柳 尚夫 山川百合子
若林秀隆

●査読委員

稲川利光 梅津祐一
阪井康友 澤 俊二
野崎園子 備酒伸彦
松坂誠應 水間正澄

●編集後記

現 内閣が今後の人口オーナス期に備え唱えている「一億総活躍プラン」は、内閣府が提示している概要をみると6項目から成る。その一つが6月29日に成立した働き方改革関連法案である。他の項に目を向けると、介護の環境整備の項には高齢者の人材活用、介護ロボット、ICTなどの活用による生産性向上がうたわれている。また、その他の項には、障害者、難病患者、がん患者などの活躍支援として、障害特性に応じた最大限活躍できる環境を整備するための就労支援、職場定着支援がうたわれている。そして、すべての人々が地域、暮らし、生きがいと共に創り高め合うことができる地域共生社会の実現を目指した地域コミュニティ育成等の推進が掲げられている。テーマは一億総活躍であるから一般労働者の仕事のあり方から、子育て、障害者、高齢者などの社会参加まで極めて広い。今後の私たち療法士をはじめとした医療現場で働く職員の働き方はどのように変化してゆくのだろうか、不安と期待が交差する。

今や業務効率化、労働生産性を上げるうえでAIやIoTの活用は不可欠と言われ、このようなロボット技術が私たち人間の職域を奪い、多くの仕事がなくなってしまうと言われている。しかし、いくらこのような技術が進んでもクリエイティブな仕事は残るとオックスフォード大学のマイケル・オズボーン博士は述べている。20年後に残る仕事の一つにはOTが挙げられている。患者の新たな人生を再構築するというクリエイティブなりハの仕事は必然的に残るということか。

思えば、以前のりハの目的は社会復帰であり、そこには居場所と共に役割を意識したかわりの姿があった。それが徐々に対象が高齢者に移っていくと、いつからか目的が自宅・在宅復帰となり、そこには役割ではなく居場所を指すのみとなってしまったようである。本来あるべきりハのクリエイティブさが低下してきたとも受け止められなくもない。その揺り戻しがICFで言われる活動・参加であり、対象者の「その人らしさ」の追求と言えそうである。一億総活躍は、「働け」を強要しているように受け止めがちではあるが、障害者、高齢者の役割づくり、その人らしさの支援ととらえると人生100年時代のりハの価値が一段と上がるように思える。

今回の特集は、中途障害者の就労支援についてであるが、併せて6月号の特集「地域に『はたらく』をつくる」も読み返していただければ幸いである。

編集委員 佐藤浩二

第13巻第8号[通巻149号] 2018年8月15日発行(毎月1回15日発行)

地域リハビリテーション 8月号

1部定価(本体1,800円+税)

2018年年間予約購読料(12冊) 21,600円+税(送料弊社負担)

発行 | 株式会社三輪書店 代表者: 青山 智

(担当: 大島・木次谷)

〒113-0033 東京都文京区本郷6-17-9 本郷綱ビル

Tel 03-3816-7796 / Fax 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com>

郵便振替 00180-0-255208

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.

6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, ©2018, Printed in Japan

表紙・本文デザイン | 白井弘志(公和図書デザイン室)

印刷 | 三報社印刷(株) Tel 03-3637-0005

広告 | (株)メディカルブレーン Tel 03-3814-5980

本誌の内容の無断複写・複製・転載は、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

【JCOPY】(社)出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつと事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。